

しつけの仕方

犬は、リーダーを必要とする動物です。このリーダーには飼い主がならなければいけません。犬がリーダーになってしまうと様々な問題行動を起こします。

飼い主がリーダーになるためにもしっかりしつけを行っていくことが重要です。

愛情をもって犬の気持ち(犬の行動や習性)をわかってやるのがしつけのポイントです。

犬が覚えないからといってあきらめず、何度でも繰り返して、習慣として教えましょう。

●ほめかた・しかりかた

しつけの中で大切なことは、その場ですぐにほめる・しがるをはっきりとすることです。犬は時間がたつと、なぜしかられたのか、ほめられたのかを理解できません。

しかるときは、ふたずに「いけない」とハッキリ言いましょう。それでもダメな時は無視しましょう。

うまくできた時は、犬にも分かるようにオーバーにほめてやりましょう。



日常の手入れ

1. ブラシ・クシできれいに

- ★毎日5分程度のブラッシングをしましょう。
- ★犬の毛は絶えず抜けかわります。特に春と夏は抜け毛の多い季節です。
- ★長毛種の犬では、ブラッシングをおこたると、毛玉ができてしまいます。
- ★血行促進、ふけ、汚れ、抜け毛の除去などに大切です。
- ★犬とのよいコミュニケーションになります。



2. 入浴させてサッパリと

- ★体調のよい時に月に1~2回位させましょう。
- ★入浴は38℃前後のお湯でさせましょう。
- ★長毛種では、特に石けん分が残らないよう、すすぎを十分にしましょう。
- ★目や耳に水が入らないように注意しましょう。
- ★暖かい日中を選びましょう。



●じゃれつきすぎて困ったとき

じゃれて人に飛びついて、びっくりさせたり服を汚したりする犬は困ります。子犬の時からそのしぐさをみせたら、いけないとはっきり言い、それでもダメな時は無視しましょう。飛びつかなかったらほめてやりましょう。



●むだぼえはダメ

犬は、運動不足・空腹・さみしい時・ふんや尿をしたい時などの原因があって鳴きます。なぜ鳴いているのかを理解して、その原因を取り除いてください。

子犬の時から甘やかされている犬は、我慢ができなくて鳴き続けます。何かを要求して鳴き続ける場合は、鳴き止んだ時に要求に応じてやるようにしましょう。



食事の与え方

食事は、栄養のバランスが良くとれたものを、規則正しく与えましょう。量は、犬の体調や食べ方を見ながら調整するようにしましょう。残した物は、そのままにしておかないで、すぐに片付けましょう。(これは、飼い主がリーダーであることを教えるためにも重要なことです。)

- 回数
生後3ヵ月位まで 1日 4~5回位
4ヵ月~8ヵ月 1日 3回位
9ヵ月以降 1日 1~2回位
- 市販のドッグフードを利用するのも良いでしょう。
- 人の食べている物は犬にとってはどれも塩分糖分が多すぎです。犬には与えないようにしましょう。
- 熱いもの、冷たいものは苦手です。
- 水はいつでも欲しい時に飲めるように、きれいな水を用意しておきましょう。
- 鳥や魚の骨は、犬の喉や食道を傷つけるおそれがありますので、注意が必要です。
- ハンバーグやすき焼など玉ねぎ、ねぎの入ったものは、ねぎ中毒(血尿・貧血)を起こすことがありますので、与えてはいけません。

注意!!

